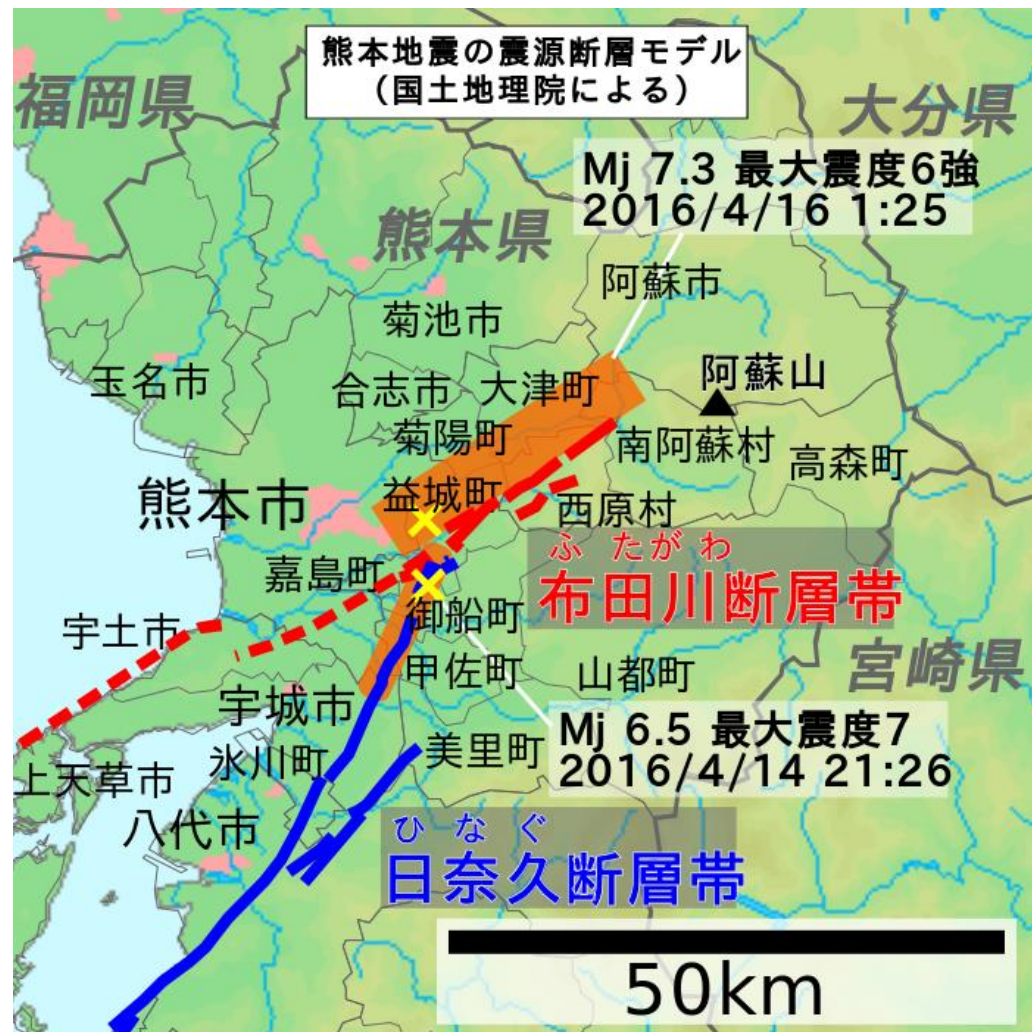


平成28年 熊本地震

2016年 4月14日 21時26分
前震 M6.5 震度7

4月16日 1時25分
本震 M7.3 震度7

死者 49人
 関連死 13人(4/25)
 死傷者 1100人
 避難者 18万3882人(4/16以降)



4月23日 益城町



4月28日 益城町



益城町総合体育館



熊本市立田迎西小学校



ハートネットに登場したメイちゃん

先天的に胃が小さく軸捻転と胃食道逆流があり胃瘦になっていました。歩けるようになって、逆流が減り喘息様の症状がなくなったために小児慢性疾患は非該当になり、熊本市では乳幼児医療での訪問看護が対象外だそうで、金銭的負担のために昨年から訪問看護の利用をやめていました。

退院当初訪問看護介入すると行政の保健師が関わらなくても良いと判断されることがあり、サポート対象から抜け落ちたものと思われれます。

メイちゃんには、姉がいて、よく聞くとヒルシュで腸切除、胃軸捻転、甲状腺機能低下、良性の脳腫瘍？知的障害、自閉症で、決まった銘柄のカップラーメンしか食べられなくなっていました(災害前はエンシュワを飲んだり数種類の食材は食べられるようになっていたそうです)二人ともニコニコして元気に遊んでいるので、NHKの取材と、市民病院の訪問がなかったらみつからなかったかもしれません

メイちゃんは兄も自閉症で、決まった銘柄のカップ焼きそば？しか食べられなくなっていて、母が夫に仕事に行ってもらわないと、二人が避難所では決まったものしか食べないので、支援物資では食事が賄えないので、日々のお金に困っているという事でした。

**フォンタン術後の3歳児と健常な1歳児のきょうだい
酸素が外れた後だったので何とか・・・という事でした。
フォンタン術直前に被災した母からは、手術はどこでやるのか？主治
医は変わりたくないなど心の内を母たちが話し合っているようでした。**

この子の

自宅は全壊

**昼間は実家の片づけ、夜は車中又は感染症に対して安全そうな避難
所はその日ごとに変わるから、避難所を転々としながら、車中泊してい
るそうです**

父は自営業で、お店も半壊その対応に追われていました。

**あぞべない子どものストレスと、少しでも揺れると怖がる、夜の睡眠が
浅い、3歳児の言葉が増えてきていたのにあまりしゃべれなくなった、な
ど、他の心疾患を抱える親御さんとも連絡を取り合っているという事
でしたが、困り事は共通でした**

熊本市民病院閉鎖

NICU、先天性心疾患患者、救急医療

熊本市立熊本市民病院

【診療科目】
内科 小児科 外科 皮膚泌尿科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 歯科
放射線科 物理療法科 救急科 麻酔科 検査科 薬剤科 看護科 栄養科
リハビリテーション科 在宅医療科 がん科 緩和ケア科 救命救急センター
【診療科目】
内科 小児科 外科 皮膚泌尿科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 歯科
放射線科 物理療法科 救急科 麻酔科 検査科 薬剤科 看護科 栄養科
リハビリテーション科 在宅医療科 がん科 緩和ケア科 救命救急センター
【診療科目】
内科 小児科 外科 皮膚泌尿科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 歯科
放射線科 物理療法科 救急科 麻酔科 検査科 薬剤科 看護科 栄養科
リハビリテーション科 在宅医療科 がん科 緩和ケア科 救命救急センター

熊本市民病院

福岡市民病院
FUKUOKA CITY HOSPITAL



気管切開で動ける6歳児(発達障害あり)

今までの経過の中で、動ける医療が必要な子どもとしてかなり苦勞をしてきた親御さんたちが作っている親の会がありました。

「いつも、困りごとを伝えても、そのような子どもは見たことがない、知らない、対象外といわれてきたから、災害時にもしもそういわれたら立ち直れない。困っていることをなんでも言ってほしいといわれても、本当かどうか心配」と言ってガードが堅かったと思います。

市民病院の鍬田看護師さんもどうつないだらよいか困っていたようで、心配されていましたが、訪問して子どもさんを見ている間に親御さんに睡眠をとってもらおうという直接的な支援ができたことで、この親御さんの会に情報が発信できたと思います。

熊本地震熊本大学小児科 関連病院連絡会議ML	担当	空床数	必要物資	医師の勤務数や状態	問題点や要望事項、その他
熊本大学	中村	空床 小児科:2 NICU:2。	特になし。	小児科当直:野村Dr+コール。NICU当直松本Dr+コール2名。	医師会仮設テントの準夜帯の支援。関連病院へ外勤再開。夜間に発熱等の初診患者。
熊本赤十字	右田	空床17。入院受け入れ可。右田Drに連絡を。	特になし。	昼PICU:三浦Dr、支援:谷口Dr(学会派遣:神園Dr(八幡)、救急:Dr。夜PICU:今屋Dr、学会派遣:中(沖縄南部)、救急:田邊/加納Dr、加納/平江Dr、田邊/三浦Dr。	救急外来:準夜26人、深夜12人。昨日の会議後、再春荘への支援の必要性を考えている。避難所巡回情報:近隣の開いている医療機関の情報が避難所に伝わっていない。〇〇病院何時~何時までなど。
国立熊本医療センター	水上	空床あり(混合病棟)。受け入れ可。	特になし。	本日23日緒方Dr。2ndまで配置。	PTSD等の心のケアに関して各施設の対応を知りたい。
熊本中央病院	永野	空床13。	特になし。	日勤:河野Dr、20時以降:永野Dr。	特になし。
熊本市民病院	近藤	全館閉鎖。	特になし。	熊大NICU、福田NICU、熊本赤十字病院、地域医療センター救護所、避難所巡回等。関連病院の支援。	新生児、産科、助産師、看護師のチームで避難所巡回。関連病院の支援。新生児搬送待機。
熊本地域医療センター	柳井	病院一部閉鎖。小児科は医師会館側に仮設テント。	特になし。	仮設テント。一次診療23日(土):18~23時。18~21時:市民病院Dr、21~23時:北野Dr(北野小児科)、18~23時:百崎Dr(大学)。常勤:上野Dr。24日(日)10時~23時。	昨夜救急33人。25日(月)から点滴、検査のみ院内で可能(?)未定。小児科学会の支援あり。入院受け入れ先問題。
再春荘病院	島津	空床4~5+α	特になし。	週末2名体制。夜間コール。GW明け(5/9)まで、0時までの対応を継続。	夜間受診18人(深夜2名)。昨日入院2名。4人入院。
熊本労災病院	吉牟田	空床:一般4, 新生児2。	特になし。	オンコール1名, サブコール1名。	震災前と同等レベルに戻りつつある。
阿蘇医療センター	橋山	空床20(病院全体で)レスパイト目的で小児科入院1名。	特になし。	常勤1。DMAT応援あり →	4/23からDMATが撤退。避難所の感染症情報あり。
天草地域医療センター	塵岡	通常。	特になし。	熊本赤十字病院への応援。	特になし。
公立玉名中央病院	宮城	空床1+α	特になし。	常勤2非常勤1 24時間コール。	入院等の相談を受付中。
小児科医会	緒方	医師会館側の救護所の支援。		多くの開業医が通常体制へ戻りつつある。仮設テントの支援。	

1. 安否確認・電源を要する子どもさんの避難

再春荘病院 島津先生、重症児守る会

おがた小児科・内科クリニック 緒方先生

再春荘病院、大学病院、熊本赤十字病院などへ入院

繰り返す余震のため、車中泊が多かった

2. 医療機関

熊本市民病院 地域医療センター 閉鎖（救急の38%）

3. 支援物資（おむつ・イルリガートル・エンシュアなど）

収集 芦北療育医療センター 松葉佐先生

仕訳 えづこ療育医療センター 吉海さん

4. 特別支援学校（医療的ケア児）

かがやきの森 黒石原 松橋

5. ひなん先からご自宅へ

あとかたづけしないと家に入れたい、けど付き添いしなきゃいけない

入浴していない

とにかく寝たい

6. レスパイト・入浴サービス

NEXTEP かぼちゃんクラブ

おがた小児科・内科医院

となりの医療型短期入所「かぼちゃんクラブ」

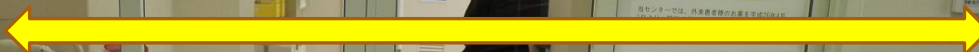




えずこ療育医療センター



新生児用



成人用



吉海さん



テルモ
SS-50ESZ
50 mL
20本入

TERUMO
テルモシリンジ
電子線滅菌済
50 mL
20本入

TERUMO
テルモシリンジ
電子線滅菌済
50 mL
20本入

TERUMO
テルモシリンジ
電子線滅菌済
50 mL
20本入

SS-20ESZ
50本入

TERUMO
テルモシリンジ
50本入

TERUMO
テルモシリンジ
20 mL
50本入

TERUMO
テルモシリンジ
20 mL
50本入

DISPOSABLE VINYL GLOVES
POWDER FREE
100PCS

立休マスク
50枚
お買得
50枚
お買得

NIPRO
ニプロシリンジ
20 mL
50本入

Niteco
BREATH ROLL
BR10
10cm x 12m 18Roll

立休マスク
50枚
お買得
50枚
お買得

立休マスク
50枚
お買得
50枚
お買得

立休マスク
50枚
お買得
50枚
お買得

立休マスク
50枚
お買得
50枚
お買得

株式会社 ジェイエム・エス
札幌市中央区南一条西1丁目1番1号

立休マスク
50枚
お買得
50枚
お買得

立休マスク
50枚
お買得
50枚
お買得

立休マスク
50枚
お買得
50枚
お買得

立休マスク
50枚
お買得
50枚
お買得

立休マスク
50枚
お買得
50枚
お買得

立休マスク
50枚
お買得
50枚
お買得

65-10

お母さんたちがお買いもの状態





3. 11東日本大震災



2011年3月11日14時46分
東日本大震災 三陸沖震源 M9.0
死者**15,894人**(3月8日警視庁)
行方不明者2,562人

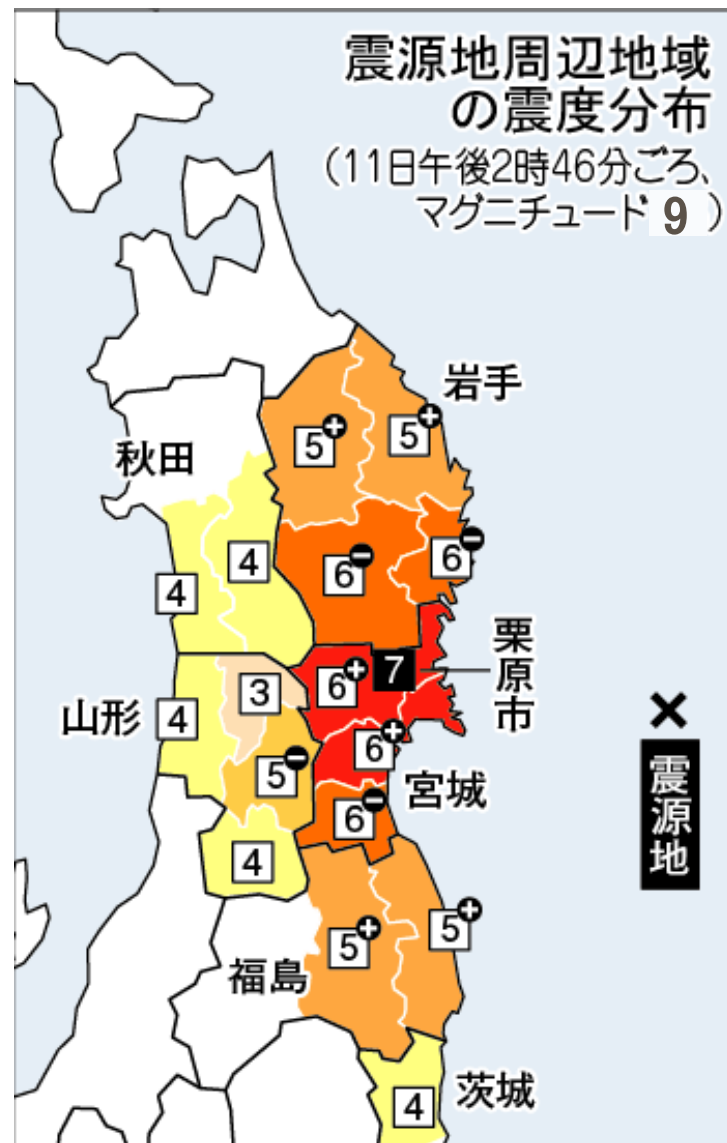
災害関連死 3,407人(1都9県)

(平成27年9月30日復興庁)

避難者 177,866人

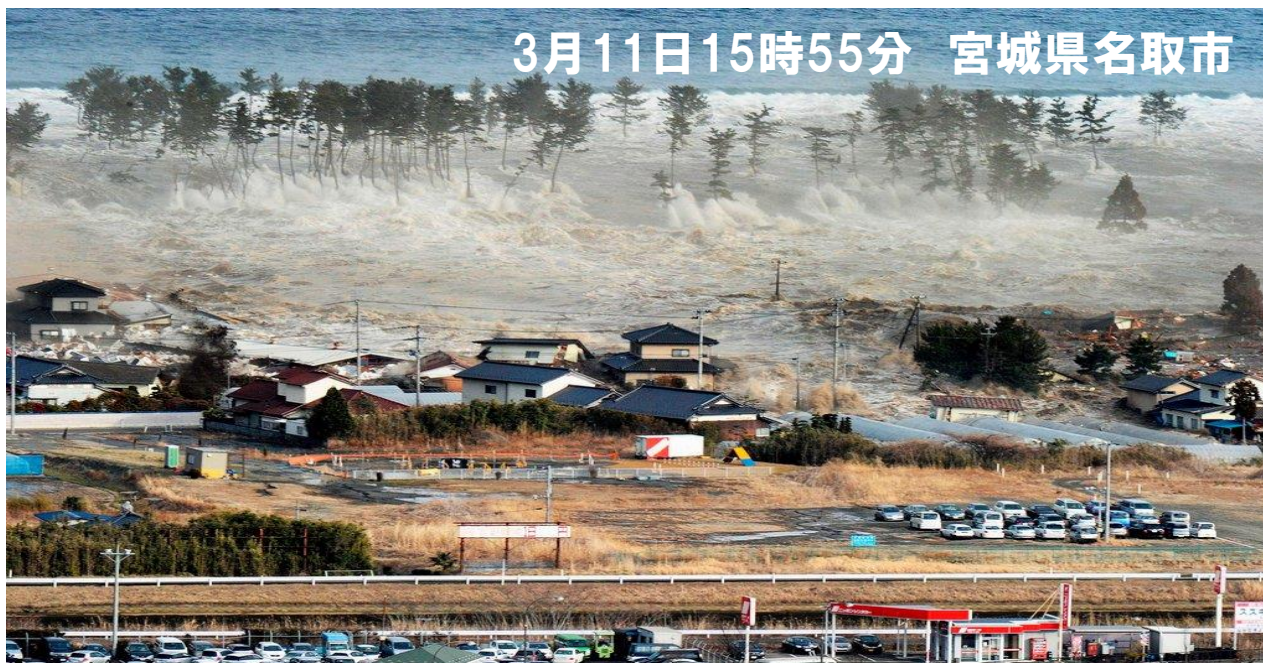
被災3県 127,698人

(平成28年1月14日復興庁)



大震災による死因

- ❑ 阪神淡路大震災では、8割が圧死・外傷による死亡
- ❑ 東日本大震災では、溺死90.5%、圧死4.5%、焼死1%
(津波による被害が大きかった)



河北新報

9月24日(月)
河北新報社
仙台市青葉区五橋1-2-28
(郵便番号 980-8660)

「東」は、未来



電話 (022) 211
読者相談室 1447
報道部1127 販売部1304
スポーツ部1130 営業部1318
夕刊編集部1146 営業管理部1312
生活文化部1132 事業部1332
総合案内 (022) 211-1111

ご購入申し込みは
0120-09-3746

3県障害者1655人犠牲

手帳所持者死亡率1.5%全住民の2倍

岩手、宮城、福島3県で障害者手帳所持者1655人が東日本大震災の犠牲となったことが、各県の調査などで分かった。障害者手帳の所持者全体に占める死亡率は1.5%で、全住民の死亡率(0.8%)の2倍近くに及んだ。災害時に障害者を社会でどう支えるのか、重い課題が浮き彫りになった。(門田一徳・西村悠里)

焦点

東日本大震災

(全住民死亡率2.2%)
で、宮城1.6%(同0.6%)、福島0.4%(同0.5%)だった。死亡率が10%を超えたのは15.6%の宮城県女川町と12.6%の南三陸町の2町。全住民の死亡

東北3県犠牲者

	障害者		一般
	死者(人)	死亡率(%)	死亡率(%)
岩手	436	3.3	2.2
宮城	1103	1.6	0.6
福島	116	0.4	0.5
合計	1655	1.5	0.8

2倍

障害者の被害は一般の2倍に及んだ

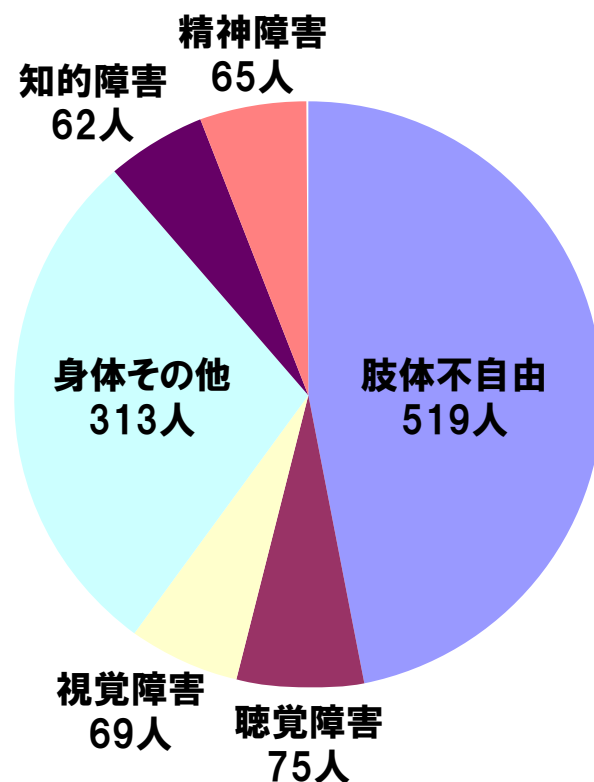
■ 東北3県沿岸部31自治体

被害者数の割合 一般0.8% **2倍**
障害児者1.5%

大津波から逃げ遅れた方が多い

障害児者を津波被害から守る
避難支援の方策が機能しなかった

宮城県1103人の内訳



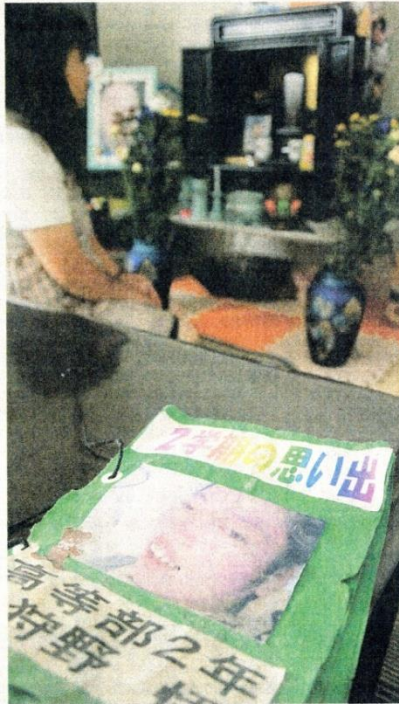
平成24年9月24日河北新報

東日本大震災で、障害者手帳所持者の死亡率は住民全体の2倍近くに及んだ。自力での移動が難しい障害者をいかに避難させ、避難後の介護、ケアにどう対応するのか。対策は遅れてい

る。「障害者が犠牲にならない社会にしてほしい」。関係者の願いは切実だ。

1面に関連記事

医療機器 運び出せず



津波で浸水した自宅で見つけた悟君の学校の記録集。「一生大切にしたい」と由紀さんは話す

寝たきり17歳犠牲に

東北の沿岸自治体で最も多くの39人の障害者が犠牲となった牡鹿市。難治性てんかん、気管軟化症と闘う狩野悟君(17)は、自ら津波に遭い命を落とした。悟君はあの日、母由紀(46)、弟拓磨君(9)の3人で自宅にいた。由紀さんは激震が襲った際、寝たきりの悟さんにタンスが倒れ、必死に押し寄せた。3人で死ぬんだと覚悟した。

自閉症の拓磨君は音に敏感で、ラジオの音でもパニセ、ベッドすれすれの高さで寝ていた。由紀さんは「避難しようにも、悟君は、気管軟化症と闘う狩野悟君(17)は、自ら津波に遭い命を落とした。悟君はあの日、母由紀(46)、弟拓磨君(9)の3人で自宅にいた。由紀さんは激震が襲った際、寝たきりの悟さんにタンスが倒れ、必死に押し寄せた。3人で死ぬんだと覚悟した。」

家の中に津波が押し寄せる。機器は水に浸かり使えなくなると振り返る。悟君の体重は43kg。避難書で命を落とすのではないかと振り返る。「長く生きるのが難しい」と覚悟はしていたが、まさか津波で亡くなるなんて思わなかった。由紀さんが遺影を見詰めて続ける。「悟君のような障害者があるが、世の中にならなくてほしい」と覚悟した。

障害者の避難・介護

焦点

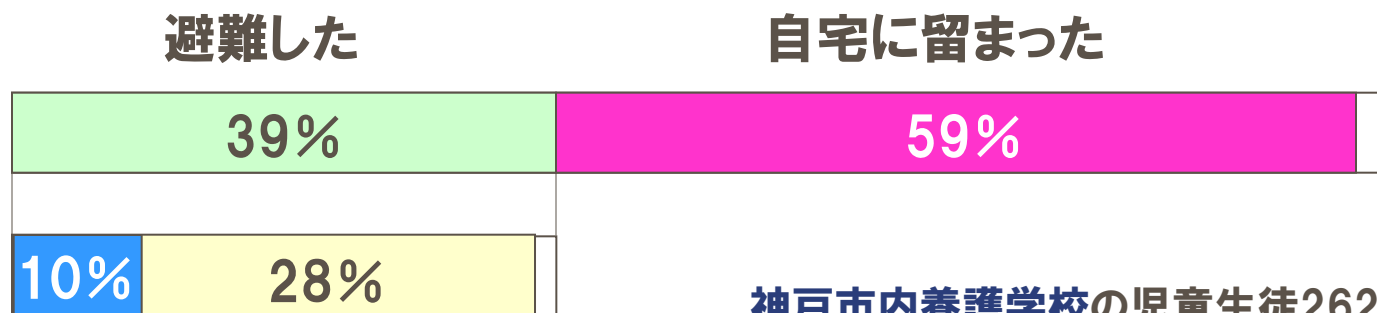
東日本大震災

石巻支援学校高等部 2年生の男の子

- 進行性ミオクローヌス てんかん
- 人工呼吸器 + 在宅酸素
- 155cm、42.7Kg
- 平屋の家、小柄な母親
- 本人を抱きかかえる2人と医療機器を運ぶ1人の大人3人が避難に必要

阪神淡路大震災では 障害児は避難所へ避難しませんでした

阪神大震災では、障害児とその家族はかなりの割合で、
避難所への避難を躊躇しました

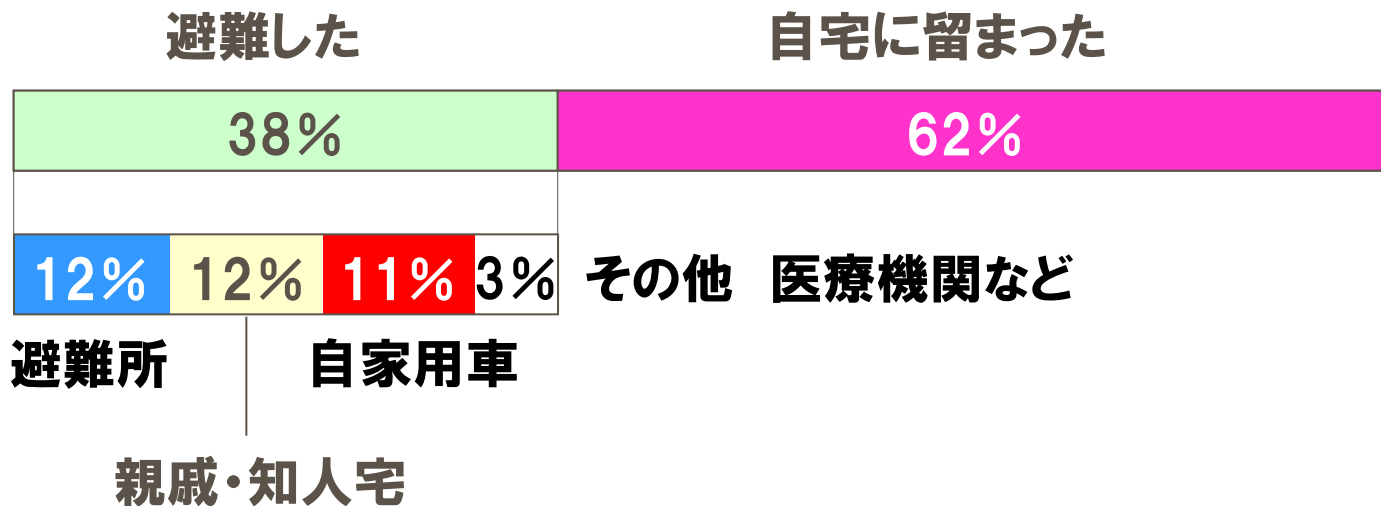


避難所 親戚・知人宅

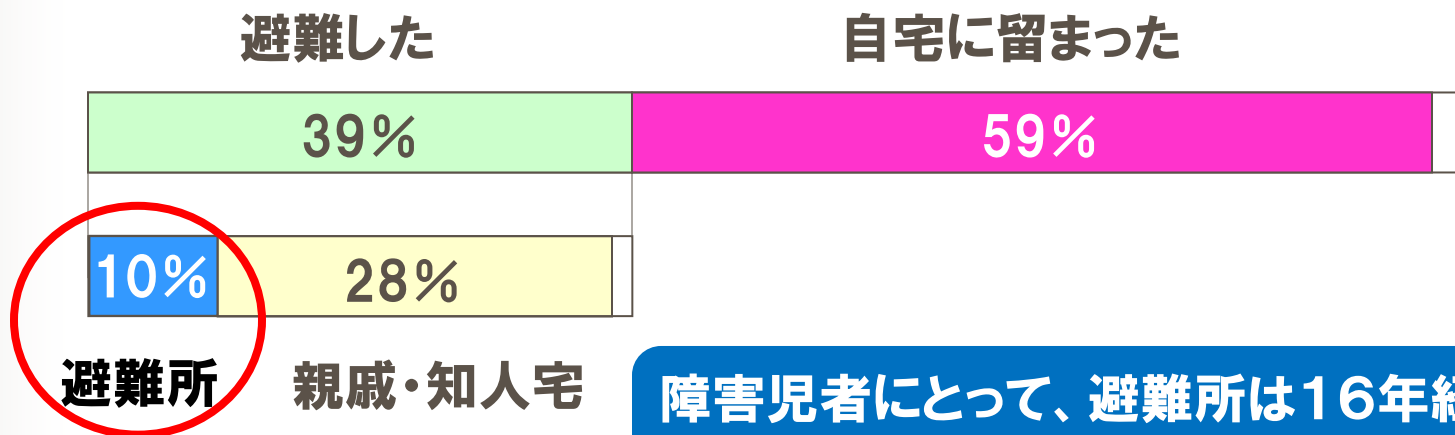
神戸市内養護学校の児童生徒262人
(2000 河相)

東日本大震災でも 障害児は避難所へ避難しませんでした

夜間の吸引音や、奇声を発する子どものことを気兼ねして、障害児者の多くが自家用車や知人宅で過ごし、避難所へは避難しませんでした

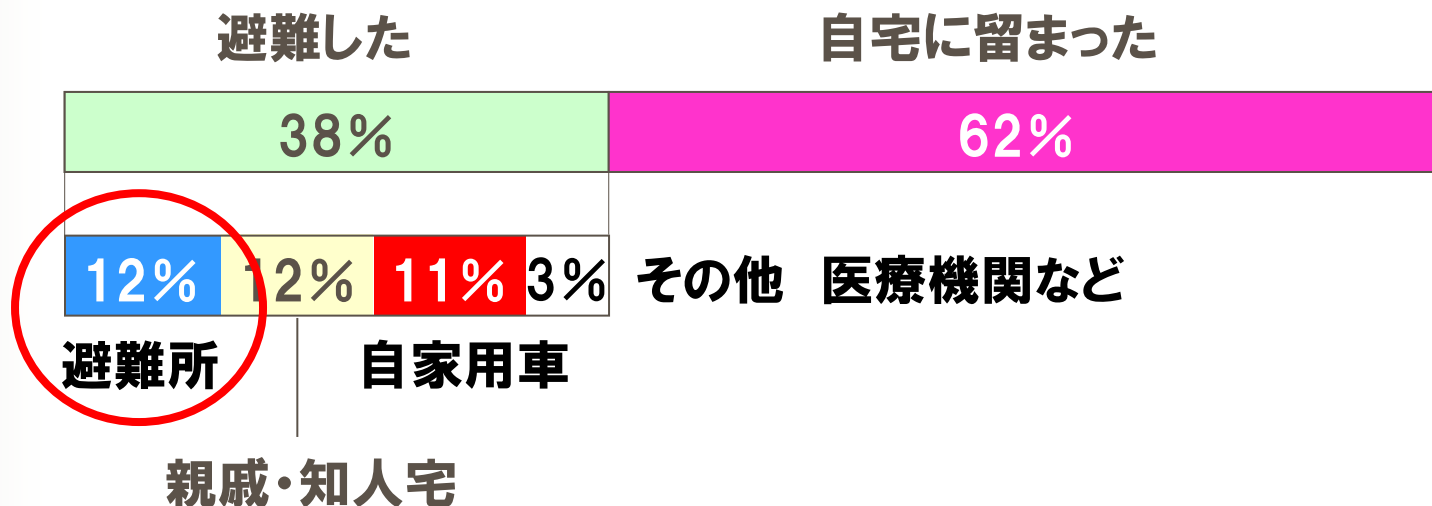


阪神淡路大震災

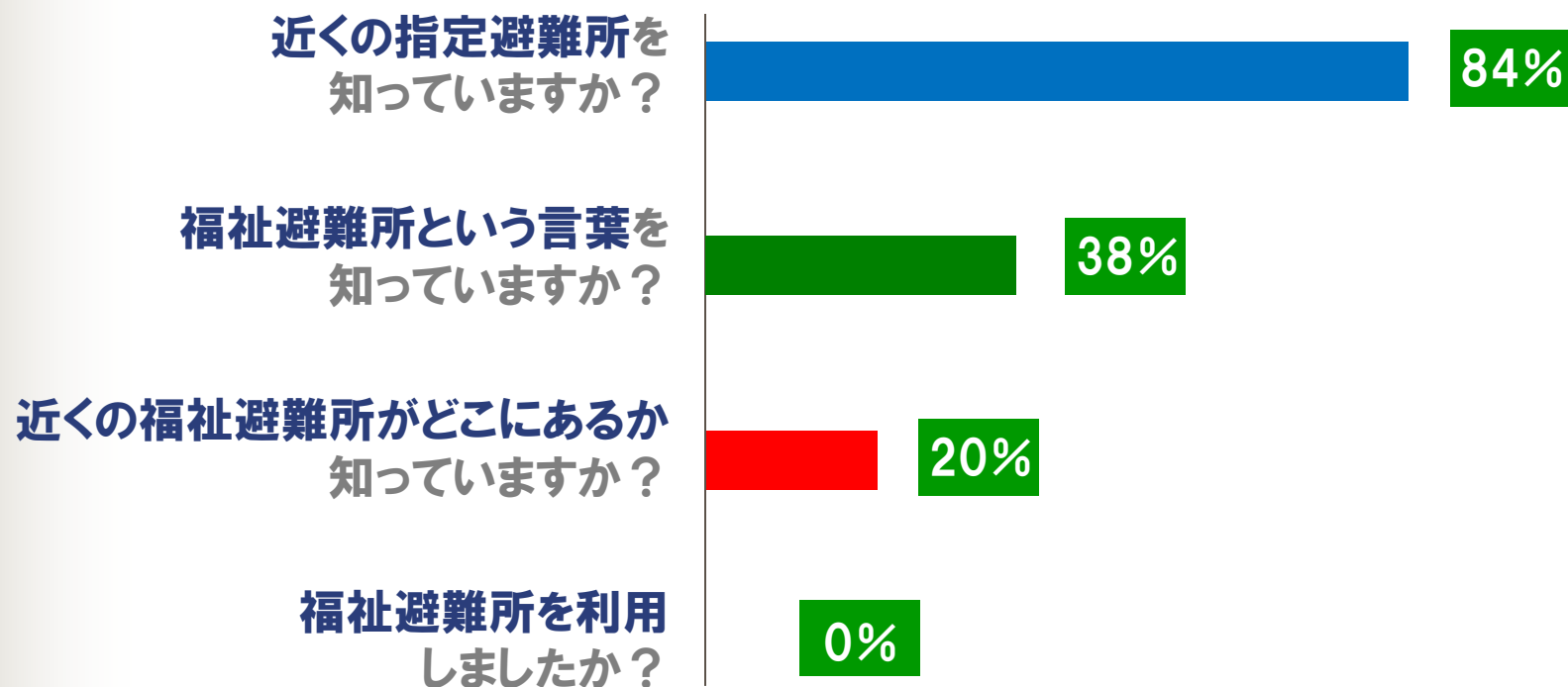


障害児者にとって、避難所は16年経っても避難しにくいところのままでした

東日本大震災



指定避難所と福祉避難所



福祉避難所を利用しなかった理由：

知らなかった 近くになかった 車がなかったので **体調変化が心配で**